学校法人ISI学園　専門学校東京ビジネス外語カレッジ
シラバス

1．本授業科目の基本情報

講義名（コード）	TCR203A	TCR_ビジネスマナー IV_A		
科目名（コード）	TCR203	TCR_ビジネスマナー IV_A		
対象学科	国際コミュニケーション学科		配当学年	2年生
対象コース	CH2		単位数	2単位30
授業担当者	長島洋介		時間数	
成績評価教員	長島洋介		講義期間	秋期
実務者教員	いいえ		履修区分	
実務者教員特記欄	本授業は、実務経験者による授業科目である。			

2．本授業科目の概要

到達目標・目的	日本電御ビジネスマナーを学び、就職内定の合格とペアワークなどの実習からアウトプットする力やコミュニケーション能力を高める
全体の内容と概要	教科書のケーススタディをパワークやグループアクテビティー
授業時間外の学修	自己英単語学習、各講義の予習と復習
履修上の注意事項等	

3．本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。		
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 （小数点以下切り上げ）	授業中の活動評価点 （5点を基準に加点・減点）

成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

４．本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	自己紹介・講義内容説明・基本英語学習	英語で自己紹介、講義内容と評価方法などを説明。日本の義務教育で学んできた英語よりさらにレベルアップした実践英語の学習法について説明
2	Session 1: 前期で学んだビジネスマナーの総復	日本での基本ビジネスマナーを学ぶ　教科書の基礎知識を学ぶ
3	Session 2: 前期で学んだビジネスマナーの総復	日本での基本ビジネスマナーを学ぶ　宿題の確認　教科書のケーススタディを実践する
4	Session 3: 7 御客様がわかるように説明したのですが（営業活動）	教科書の基礎知識を学ぶ
5	Session 4: 7 御客様がわかるように説明したのですが（営業活動）	日本での基本ビジネスマナーを学ぶ　宿題の確認　教科書のケーススタディを実践する
6	Session5: 1　お客様と敬語で話したのですが（敬語の使い方）	教科書の基礎知識を学ぶ
7	Session6: 1　お客様と敬語で話したのですが（敬語の使い方）	日本での基本ビジネスマナーを学ぶ　宿題の確認　教科書のケーススタディを実践する
8	Session 7: 2　いろいろな日本語の表現をみますが（話し言葉と書きこ	教科書の基礎知識を学ぶ
9	Session 8: 2　いろいろな日本語の表現をみますが（話し言葉と書きこ	日本での基本ビジネスマナーを学ぶ　宿題の確認　教科書のケーススタディを実践する
10	Session 9:　4 お客様にメールで挨拶をしましたが（ビジネスメールの	教科書の基礎知識を学ぶ
11	Session 10:　4 お客様にメールで挨拶をしましたが（ビジネスメール	日本での基本ビジネスマナーを学ぶ　宿題の確認　教科書のケーススタディを実践する
12	Session 11:　5 お手紙を書くことになりましたが（ビジネス文書の形	教科書の基礎知識を学ぶ
13	Session 12:　5 お手紙を書くことになりましたが（ビジネス文書の形	日本での基本ビジネスマナーを学ぶ　宿題の確認　教科書のケーススタディを実践する　　期末試験レビュー
14	期末試験	学期試験
15	追試・フィードバック	Feedback

５．本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	留学生・日本で働く人のためのビジネスマナーとルール（改訂版）　武田聡子・長崎清美著
参考文献・資料等	日本電御就職活動ケーススタディ
備考	